

令和7年度 寒川町 がん検診

「今は元気だから大丈夫」…そんなことはありません。2人に1人はなると言われる「がん」。

早期発見・早期治療のためにも検診を受けましょう！

自覚症状や何か気になることがある場合は、検診を待たずに受診してください。



1. どの検診を受けたいか選択！(各検診の受診は年度内1回です)

種 目	対象者	内 容	自己負担	
			集団検診	施設検診
胃がん	40 歳以上	胃バリウム検査(X 線撮影) ※集団検診は75歳未満まで	1,500 円	3,100 円
	50 歳以上偶数歳	胃内視鏡検査(胃カメラ)		4,000 円
大腸がん	40 歳以上	検便(便潜血検査)	400 円	1,000 円
肺がん		胸部 X 線撮影	400 円	1,000 円
		胸部 X 線撮影+喀痰検査(医師の判断により実施)	1,000 円	1,500 円
子宮がん	20 歳以上偶数歳女性	頸部細胞診検査 ※21歳無料対象者は頸部のみ、体部は選べません	1,200 円	1,500 円
	21 歳無料受診対象者	頸部・体部細胞診検査(医師の判断により実施)		3,500 円
乳がん	40 歳以上偶数歳女性	マンモグラフィ(乳房 X 線撮影 2 方向)のみ	1,300 円	1,500 円
	41 歳無料受診対象者	マンモグラフィ(乳房 X 線撮影 2 方向)+視触診	2,500 円	3,000 円
		マンモグラフィ(乳房 X 線撮影 1 方向)のみ	1,300 円	1,500 円
	50 歳以上偶数歳女性	マンモグラフィ(乳房 X 線撮影 1 方向)+視触診	2,500 円	3,000 円

※受診券には対象の検診が表示されています。内容・金額を確認し、選択してください。

※対象年齢は令和7年4月1日～令和8年3月31日の間に誕生日を迎える年齢です。

※75歳以上、世帯全員非課税、生活保護受給者の場合、自己負担免除となりますので、金額が異なる場合はお問い合わせください。

※胃がん内視鏡検査(胃カメラ)は、別途費用がかかる場合がありますので医療機関へお問い合わせください。

2. 集団検診と施設検診から選んで予約！

健康管理センターで受けるなら

集団検診

個別医療機関で受けるなら

施設検診

希望する検診日の申込期間内にお申込みください

※先着順のため、定員に達し次第締め切ります

検診日	申込期間
6月25日(水)	5月12日(月)～5月16日(金)
7月29日(火)	6月23日(月)～6月27日(金)
8月31日(日)	7月14日(月)～7月18日(金)
9月29日(月)	8月12日(火)～8月18日(月)
11月17日(月)	10月1日(水)～10月7日(火)
12月18日(木)	11月4日(火)～11月10日(月)
令和8年1月31日(土)	12月8日(月)～12月12日(金)

場所 健康管理センター

申込み 申込期間内に健康づくり課へ電子申請・電話・FAX・郵送のいずれかにてお申込みください

※詳しくは、検診日約1週間前に郵送される通知のご確認をお願いします。

期間内に希望の医療機関へお申込みください

期間 令和7年4月1日～令和8年2月28日
(※実施医療機関の診療日に限る)

場所 町内及び茅ヶ崎市内の実施医療機関

申込み 実施医療機関へ電話等でお申込み

持ち物 ・がん検診受診券

・本人確認できるもの(健康保険証など)

注意事項

※生活保護の方へ 受診の際には、生活保護を証明できるものをお持ちください。

必ず裏面もご確認ください↓



がん検診は定期的に受診しましょう

○どうして検診を受けるの？

がんは症状が無くても気づかない内に進行します。そのため、定期的に検診を受け、早期発見、早期治療することで、死亡率を減らすことができます。既に自覚症状がある場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。

○検診を受けたら必ずがんを発見できるの？

見つけづらいがんもあり、がんがあっても「異常なし」と判定（偽陰性）されることや、がんがなくても精密検査が必要と判定（偽陽性）されることもあります。



○どのぐらいの間隔で受ければいいの？

検診を受けて「異常なし」であっても、次回のがん検診を受けましょう。今後発生するかもしれないがんを早期発見するためには、定期的になん検診を受診することが大切です。

胃（X線）・大腸・肺がん検診は年 1 回

がんの罹患率（最新 2019 年）、がん死亡者数（最新 2021）年とも第1位から第3位まで胃・大腸・肺がんが占めています。特に喫煙率の高い男性では、がんによる死亡1位が肺がんであり、禁煙・防煙を徹底することで罹患リスクを下げるのが大切です。



胃内視鏡・子宮・乳がん検診は 2 年に 1 回

乳がんは女性の罹患率第1位で、九人に一人罹患すると推定されています。日頃から乳房の状態を知り、変化に気づくのが大切です。また、子宮頸がんは女性のがん罹患率の上位となっており、近年は若年齢化が進み、20～30 歳代から罹患率が急増しています。



検診結果が「要精密検査」であった場合は、必ず精密検査を受診してください。

より詳しい検査が必要と判断されています。できるだけすみやかに精密検査を受診してください。精密検査は、任意の医療機関を選ぶことができます。検診と違う病院でも受診可能です。

※精密検査の結果は個人の同意がなくとも実施主体である町や実施医療機関が共有いたします。
今後のがん検診の精度管理のため、個人が特定できない統計として県を通じて国に報告いたしますので、ご了承ください。
（個人情報保護法の例外事項として認められています。）

各がんの精密検査方法

- 胃がん : バリウム検査で精密検査となった場合→胃内視鏡検査
内視鏡検査で精密検査となった場合 →生検または内視鏡検査の再検査
- 肺がん : CT 検査や、気管支鏡検査
- 大腸がん : 全大腸内視鏡または S 状結腸内視鏡検査と注腸 X 検査の併用
- 子宮頸がん : コルポスコープ下の組織診や細胞診・HPV 検査などを組み合わせたもの
- 乳がん : マンモグラフィの追加撮影・超音波検査・穿刺吸引細胞診・針生検等



がん検診等についての町ホームページこちら→

寒川町役場 健康づくり課 健康づくり担当 電話 0467-74-1111

